

# 家庭学習の手引き

～すくすく木津川台っ子～

## 6年生編

将来のことや趣味など、夢中になれることが見つけられる時期であり、何かしらの不安感を持ってしまう多感な時期でもあります。同時に、一層、自分でできる、自分でしたいという気持ちも出てきます。遊びや行動範囲も、自分の好みに応じて広がる時期です。こんな時こそ、就寝時刻や起床時刻を見直し、基本的な生活習慣を守った生活を自分でできるように見守りたいものです。また、勉強も難しくなり、学習時間も増えてきて、習い事などがあると、時間に追われる生活になってしまいます。計画的に学習することが本当に大事になってきます。悩みや将来の夢などについて、家庭での対話を特に大切に、子どもの成長を確かめるように心がけていただきたく思います。

学校生活では、最高学年としての責任ある行動なども求められます。これまでにはなかった多くの体験を通して、子どもたちは大きく成長していきます。筋道を立てて考え、思いを言葉できちんと伝えられることが、多くの場面で必要となります。学ぶことの面白さや探求していくための工夫を探りながら、自分にできることを見つけて続けていくことができるように、認め、励ましていくことが大事です。次第に、自分に適した学習方法が身に付いていきます。

### 自ら判断し、進んで学ぶ習慣を身に付けさせる関わり方のポイント

#### (1) 学習に集中させる工夫をしましょう。

- ・生活パターンに合わせた学習時間を確保できるようにしましょう。
- ・お子様と話し合いながら、学習時間や内容を確認して状況を見守るようにしましょう。

#### (2) 学習の準備は、怠りなくできるようにさせましょう。

- ・次の日の学習の用意や提出物、家庭学習に必要な物など準備ができているか折に触れて声かけをお願いします。

#### (3) 子どもとの会話の時間を確保しましょう。

- ・好きなものの話など共通の話題を見つけ、積極的に会話の時間を作りましょう。
- ・家族の一員としてお手伝いをすることで、責任感や家族に対する有用感が生まれます。コミュニケーションの一環としてもお手伝いをさせてみましょう。「ありがとう」「助かったよ」の言葉を添えていただくと一層効果的です。

## よりよい家庭学習のために

### 国語

#### 〈音読〉

- ・文章を正確に読みましょう。
- ・心情・情景を思い浮かべながら気持ちをこめて読むなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。
- ・名文(詩・短歌・俳句・古文)は、できるだけ覚えましょう。
- ・文章を正確に読みましょう。

#### 〈漢字〉

- ・漢字の構成や字形を意識して丁寧(ていねい)に練習しましょう。
- ・熟語の意味調べや、短文づくりにも取り組みましょう。正しい書き順で正確に書きましょう。

#### 〈言葉〉

- ・国語辞典や漢字辞典を手元に置き、積極的に使いましょう。

### 算数

- ・答えが間違っていないか、見直しや確かめをしましょう。
- ・計算力を向上させるために、よくまちがえる計算はくり返し練習しましょう。

### その他

- ・いろいろな種類の本を選んで読むようにしましょう。
- ・学校での学習内容を振り返りながら、教科書やノート、プリントなどを参考に絵や図をかいたり、自分の言葉で説明したりするなどして、自主的に勉強したり、苦手な内容に取り組んだりしましょう。新聞やニュースから得た情報について、自分の意見や感想を書くなど、文章を書く機会を増やしましょう。
- ・学校で学んだことが、日常生活のどのような場面で活かすことができるか考えましょう。
- ・書く事柄を収集・整理し、決めたテーマにそって文章を書きましょう。



### 自主学習にも取り組みましょう。

#### 自主学習の基本

- ☆その日に学習したことを、授業の流れに沿って、教科書やノートなどをもとに思い出し、もう一度要点をまとめましょう。
- ☆専用の「自主学習」のノートに、自分の学習の足跡となるように「美しい」ノートに仕上げていきましょう。
- ☆「ノート」には、毎日、日付・教科名・取り組んだ時間・ふりかえり・まとめを忘れずに書きましょう。

#### 各教科で具体的にやること

##### 国語

- ・学習したことの要点を自分なりに整理
- ・新出漢字の練習(4~5回)  
→色んな読み方、使い方  
・言葉の意味や使い方調べ
- ・伝記や名作の読書

##### 算数

- ・学習したことの要点を自分なりに整理
- ・公式や計算方法、考え方の復習
- ・学習した問題をもう一度解く
- ・テストで間違った問題をもう一度解く
- ・教科書や問題集で類似問題を解く
- ・答え合わせをして、間違いを正す

##### 社会

- ・要点をまとめる(教科書、ノート、資料集などから)
- ・授業の感想やわかったことの整理
- ・学習に関連した新聞記事集め(メモや感想をまじえて)

##### 理科

- ・学習したことの要点を自分なりに整理
- ・授業でまとめたことの視写
- ・実験のまとめ(図も使って)  
実験の目的、実験方法、結果、結果の考察
- ・発展したことを調べる(色々な本やインターネットなどで)